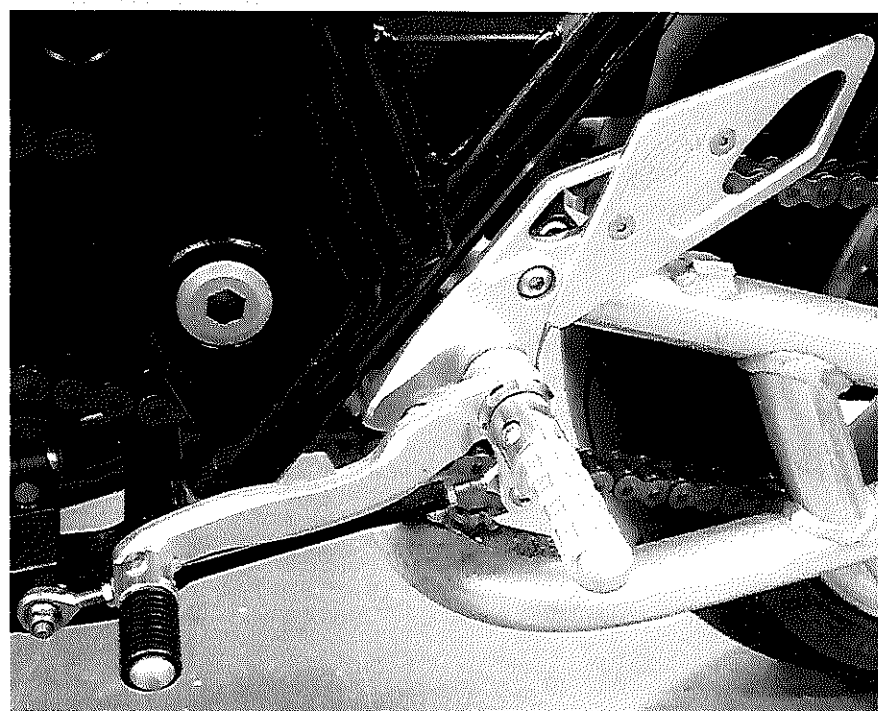
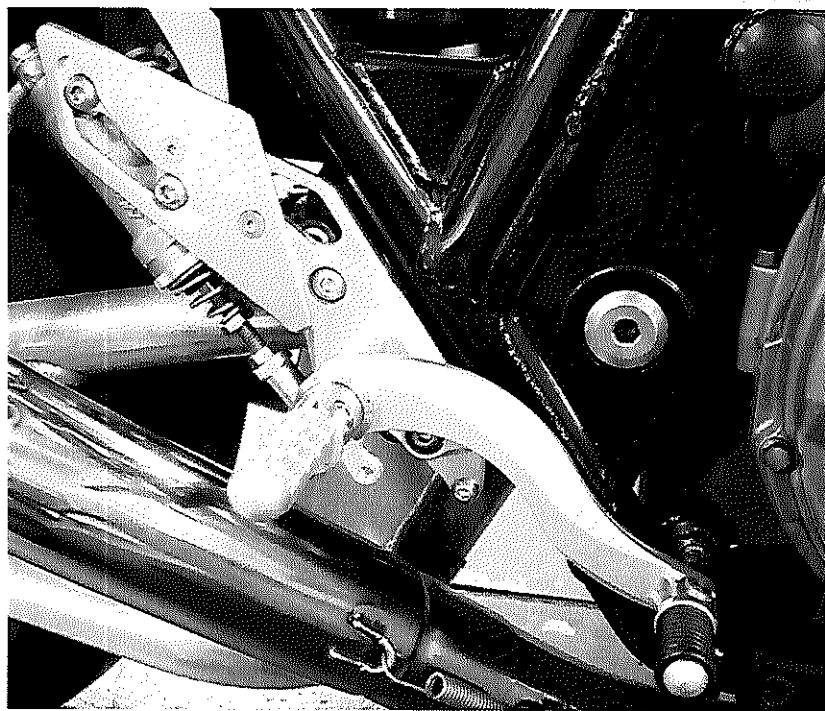


Kawasaki ZRX1200 / 1100 Hyper Bank < 取付説明書 >



《 おもな仕様 》

- ◆ シフト側・ブレーキ側ステッププレート
 - ◆ シフト側・ブレーキ側ポジションプレート
 - ◆ ブレーキカム、etc
 - ◆ シフト側・ブレーキ側ペダル、両側ペダルピン
 - ◆ 両側ステップバー、チェンジカム
 - ◆ 両側ペダルピン、可倒システム採用。
 - ◆ 5ポジション可変システム。
 - ◆ MFJレースレギュレーション対応ステップバー。
 - ◆ エクステンション用シフトロッド付属。
 - ◆ 逆チェンジ仕様に変更可能。
- アルミ (ジュラルミン) 削り出し
 - アルミ (ジュラルミン) 削り出し
 - アルミ (ジュラルミン) 削り出し
 - アルミ (ジュラルミン) 鍛造
 - アルミ (ジュラルミン) 鍛造
 - ステンレス製

《 注意 !! 》

取付作業をはじめる前に
必ずお読みください

《 Attention!! 》

- ◆ 本製品の取付作業は、オートバイメーカー発行のサービスマニュアルによる、確かな知識・技術を持ったバイクショップ又は、販売店に依頼する事をお奨めします。
- ◆ 本製品の取付作業は、エンジン・マフラー・ラジエターなど、が完全に冷えている状態で行ってください。ヤケド等の怪我の原因となります。
- ◆ 本製品の取付作業終了後、初期の段階で各部のボルト・ナットが緩み易くなっていますので、2～3日走行後必ず増し締めを行ってください。
- ◆ 製品に加工を施さないで下さい。重大な事故の原因になります。
- ◆ 御客様の装着されているマフラー製品、その他の部品等、によって本製品と干渉し、使用できないポジションがありますので、予め御了承下さい
- ◆ 本製品の取付作業終了後、走行の前に、必ず、ブレーキの利き・引きずり・ブレーキランプの点灯確認・シフト周りのガタツキ等を確認してください。

◇ 取付作業に入る前に本商品の部品一式が、きちんと揃っているかパーツリストと照らし合わせて確認してください。

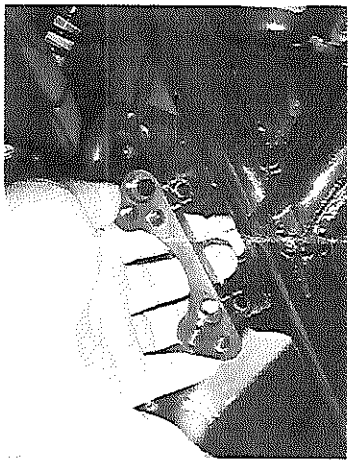
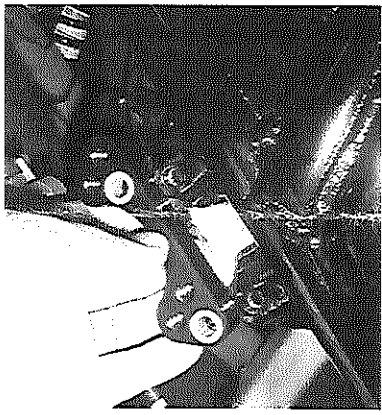
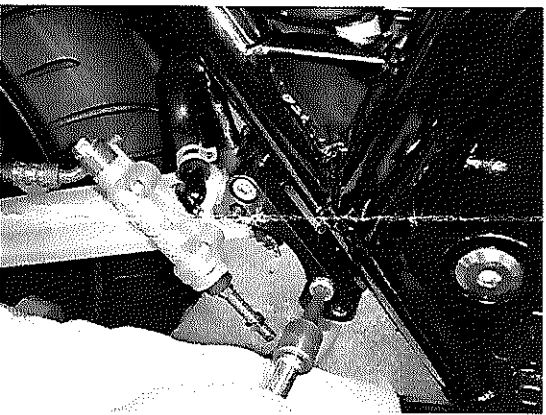
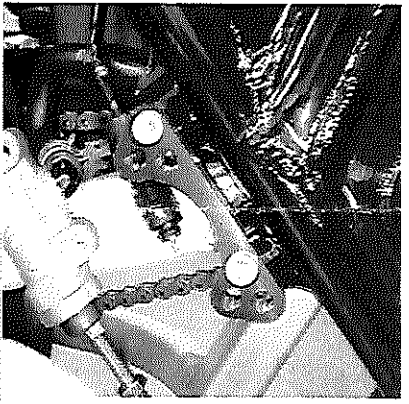
ブレーキ側 (RH) の取り付け

① 純正リアブレーキ マスタシリンダーと純正ブレーキランプスイッチをブレーキ側 純正ステッププレートから外し、その後ブレーキ側ノーマルステッププレートを車体から取り外します。

- ※ ブレーキランプスイッチを外す時は、マイナスドライバー等で引っ掛かりを少しずつ押込む様にして外してください。
- ※ ブレーキ周りの部品が、車体やマフラーに傷をつけたりする事がある為、予めウェス等でカバーして当たらないように工夫してください。
- ※ ブレーキオイル内に気泡が混ざるのを防止する為ホースが折れ曲がらない様に注意してください。

② フレームのステップ取付部に HYPERBANK のポジションプレートを M8×15 キャップボルトで取り付けます。

※ ZRX1200 HYPERBANK はポジションチェンジが可能です。5つあるポジションのうち1箇所は、ポジションプレートに専用 アルミカラー(厚み 9.5 mm)を取付穴のザグリに差し込み、オフセットスペーサーとして車体と HYPERBANK ホルダーとの間に重ねてホルダーの取付穴からとも締めにして取り付けます。

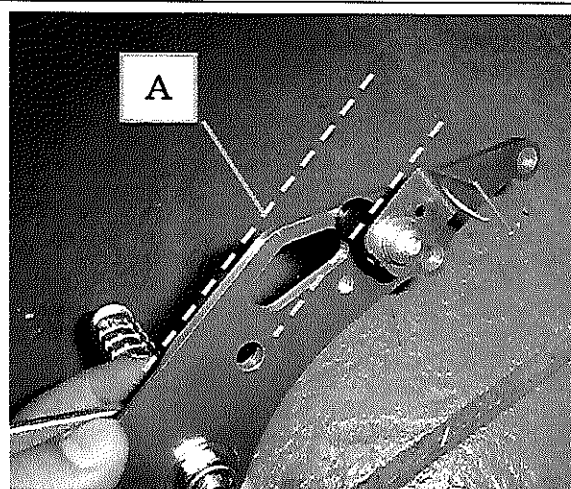
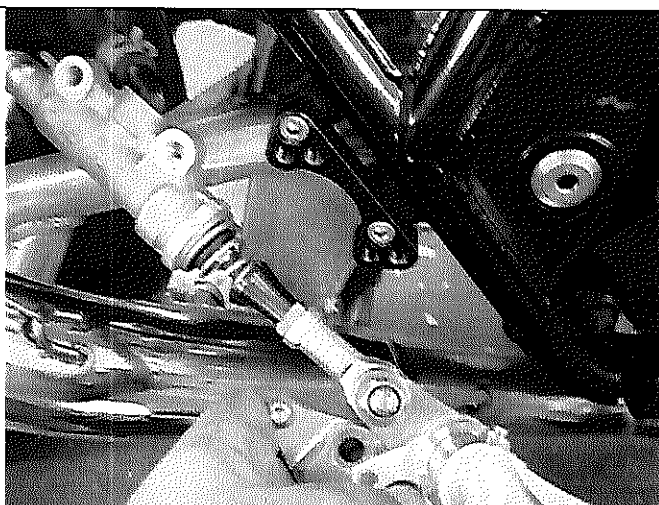
ポジション①②③の時の ポジションプレートの向き	ポジション③④⑤の時の ポジションプレートの向き ※ ポジション③のみカラーを入れる。	ポジション①②③の時 M8×25 キャップボルトで締める ポジション③の時は M8×35 の丸キャップ ボルトで閉める	取付完了
			

③ 純正リアマスターシリンダーのプッシュロッドボルトに HyperBank ブレーキ側 Assy のピロボール KF-8 を約 10~20 mm 程 Assy ごと回してねじこんでおきます。

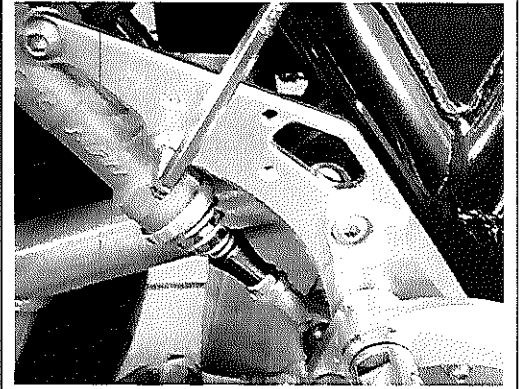
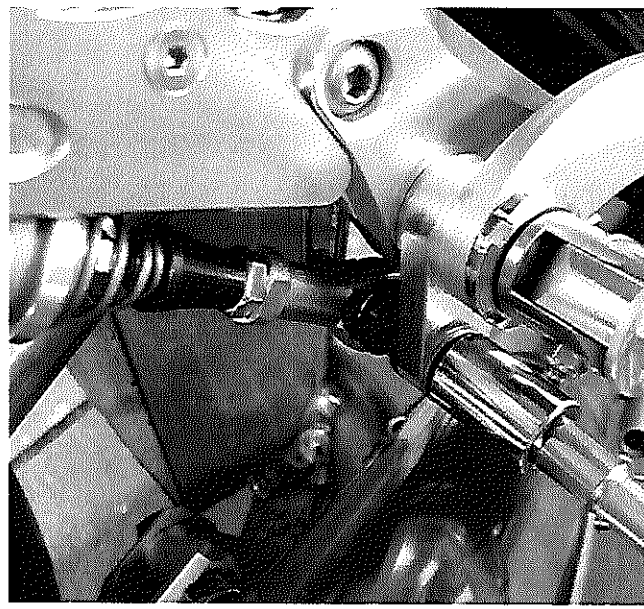
- ※ この時、ねじ込む量でブレーキレバーの垂れ角が決まりますのでおおまかな位置決めをこの時に済ませておいて下さい。
- ※ 純正アジャストナットで仮締めしておきます。

④ ストップランプステーの角度をホルダーの A の部分と平行にしてボルトを締める

⑤ 外しておいたブレーキランプスイッチを HyperBank ホルダーについているスイッチステーに、上から(下図の様に)パチンと鳴るまで押し込んで下さい。

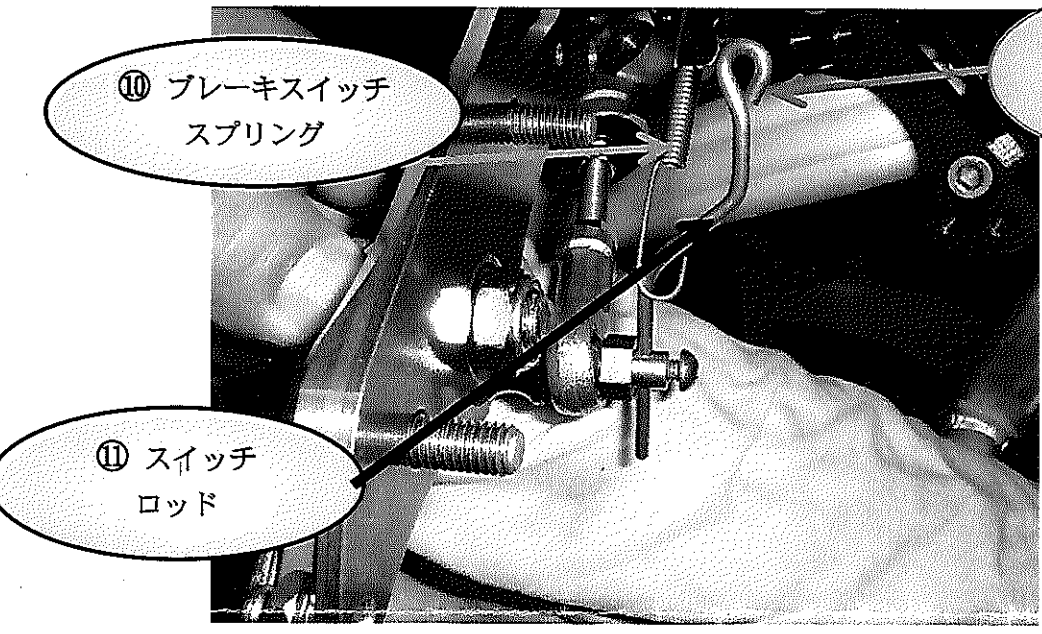


⑥ ブレーキスイッチスプリング をスイッチの先の穴に引っ掛け、ラジオペンチなどを使って軽く下に引っ張り、スイッチロッドの穴に引っ掛けます。



⑦ ブレーキスイッチスプリング の長さに合わせて、スイッチロッドの傾きをセットし、傾きが決まってから M8 ジャケット を仮締めします。(※M8 ジャミナットは調整用です。本締めは M8U ナットを使用します)

⑧ マスターシリンダーを、ステップホルダーの裏側から下図の様に取付け、付属の丸キャップボルト (M8×25) を、ステップホルダーに通し、マスター側のネジに仮止めする。



⑩ ブレーキスイッチスプリング

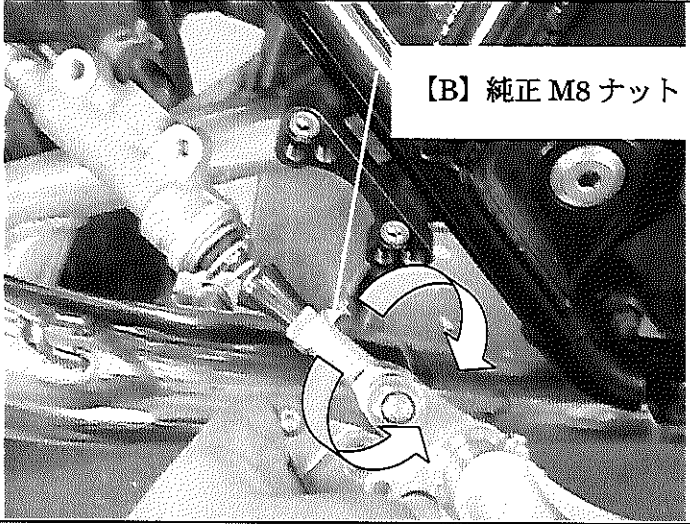
⑨ スイッチロッドの穴

⑪ スイッチロッド

⑨ ブレーキスイッチの調整
 > スイッチロッド をスプリングが軽く張るところまでロッドを回します。
 > ロッド軸の角度を、スイッチスプリングが遊ばない程度のクリアランスに調節します。
 ロッド軸のジャケットを取り外して M8U ナットを本締めして下さい。

⑩ ブレーキペダルの角度 を、マスターシリンダーに取付けられている 純正ナット でピロボールの止める位置を確認しながら、ホルダーごと(下図参照) を回して調節します。
 ※ 角度が決まったら ロッドに付いている純正のナット (下図 B) をピロボール側に締めてロックします。

⑪ 純正ブレーキスイッチのアジャストナット を回して、スイッチスプリング が遊ばない程度のクリアランスにして再度調節して下さい。



[B] 純正 M8 ナット

※ このときブレーキランプの点灯するタイミングを見ながら調整してください

※ 必ず、ご自分に合ったポジションを選択し、チェンジ・ブレーキ 両側のポジションが同じであることを確認して下さい。

※ 最初に取り付けるポジションは 前から 1 つめ、下から 1 つめ の所に付けることをお奨めします。

⑫ ペダルの角度、スイッチの調整、ピロボールの角度 や取付けがおかしくないかを確認してから、マスターシリンダー を仮止めしている丸キャップボルト M8×25 を本締めして下さい。

⑬ 必ず最後に、リアブレーキホースが回転部分 (ブレーキディスクローター・ホイール・タイヤ等) に接触していない事を、車輪を回して確認して下さい。

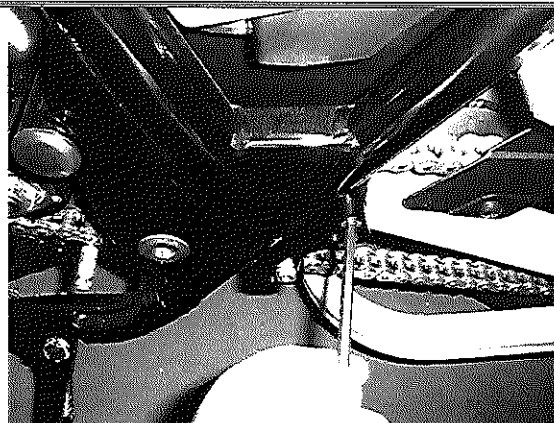
※ 他のポジションに取り付ける場合は、スイッチロッドステーの角度等を合わせてからホルダーを移動すると、各部の調整がし易くなります。

⑭ ホルダー を止める丸キャップボルト M8×20 を本締めする。

チェンジ側 (LH) の取り付け

- ① ノーマルステップを車体に固定しているボルトを外し
ノーマルステップを車体から外します。

※ 純正チェンジカムを止めている、純正 M6 六角ボルトは
逆チェンジ時に使用します。



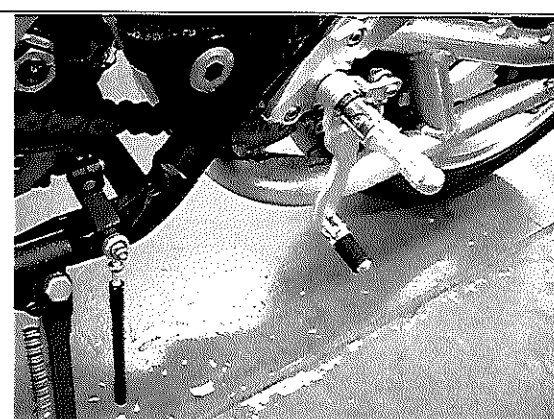
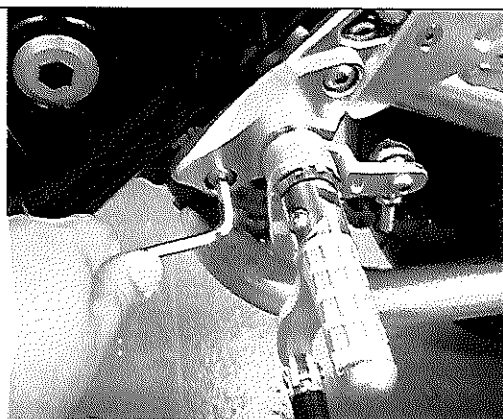
- ② 左側ポジションプレートをキャップボルト M8×20 で、車
体側に取り付け、本締めしておきます。

- ③ チェンジ側ホルダーを左側のポジションプレートに取り付けて、
キャップボルト M8×20 で本締めします。

※ 必ず、ご自分に合ったポジションを選択し、チェンジ・ブレーキ
両側のポジションが同じである事を確認して下さい。

※ 最初に取り付けるポジションは 前から1つめ、下から1つめの
所に付けることをお奨めします。

- ④ 付属のチェンジカム (製品はブラックアルマイト) に着いている
ピロボールに、アルミチェンジロッド (製品はブラックアルマイ
ト) を1~2山程ネジをかけます。 ※ (下図)



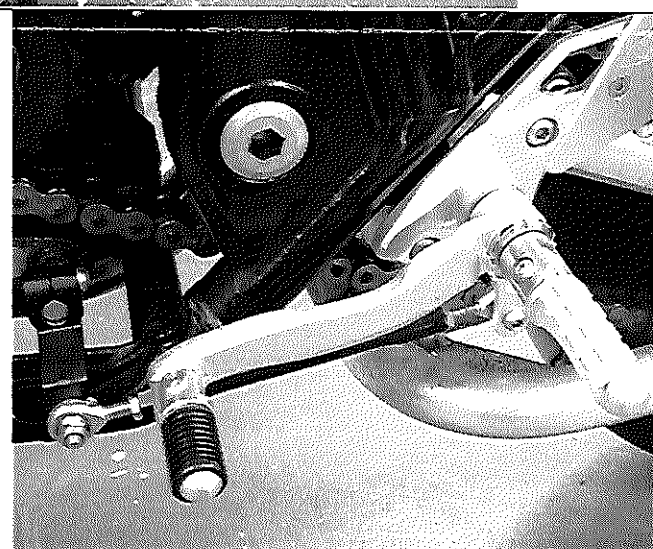
- ⑤ 付属のチェンジカム (製品はブラックアルマイト) を右図の様に取付け、
付属の丸キャップボルト M6×20 で仮締めします。

- ⑥ 逆シフトチェンジを選ぶ場合は、エンジン側チェンジカムを 180 度回して
上向きに取付け、純正 M6 六角ボルトで止めます。

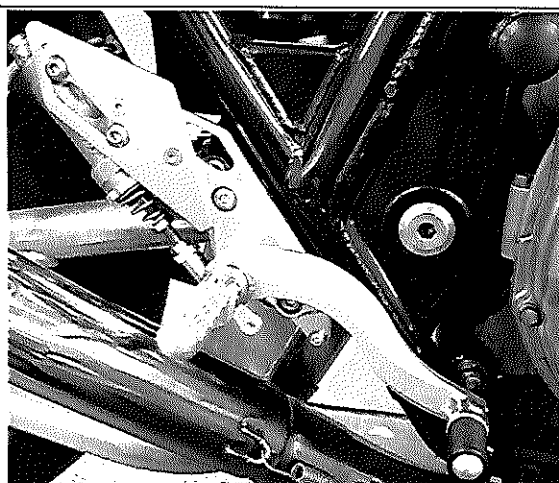
- ⑦ ペダル側チェンジカムのピロボールに、アルミチェンジロッドを1~2山程
ネジをかけます。 ※ (右図)

- ⑧ アルミチェンジロッドを回しネジのかかりがそれぞれ 10 mm 以上に
なるようにチェンジペダルの垂れ角を、お好み調整し、ペダル位置が
決まったらそれぞれ M6 ジャミナットを閉めてロックしてください。

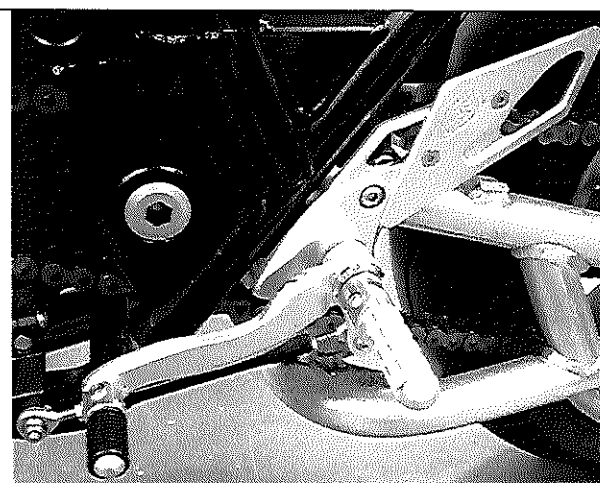
- ⑨ シフトチェンジ操作に不具合が無いか確認して下さい。



- ⑩ ブレーキ側の取り付けを確認して各部の増し締
めをして下さい。



- ⑪ チェンジ側の取り付けを確認して各部の増し締
めをして下さい。



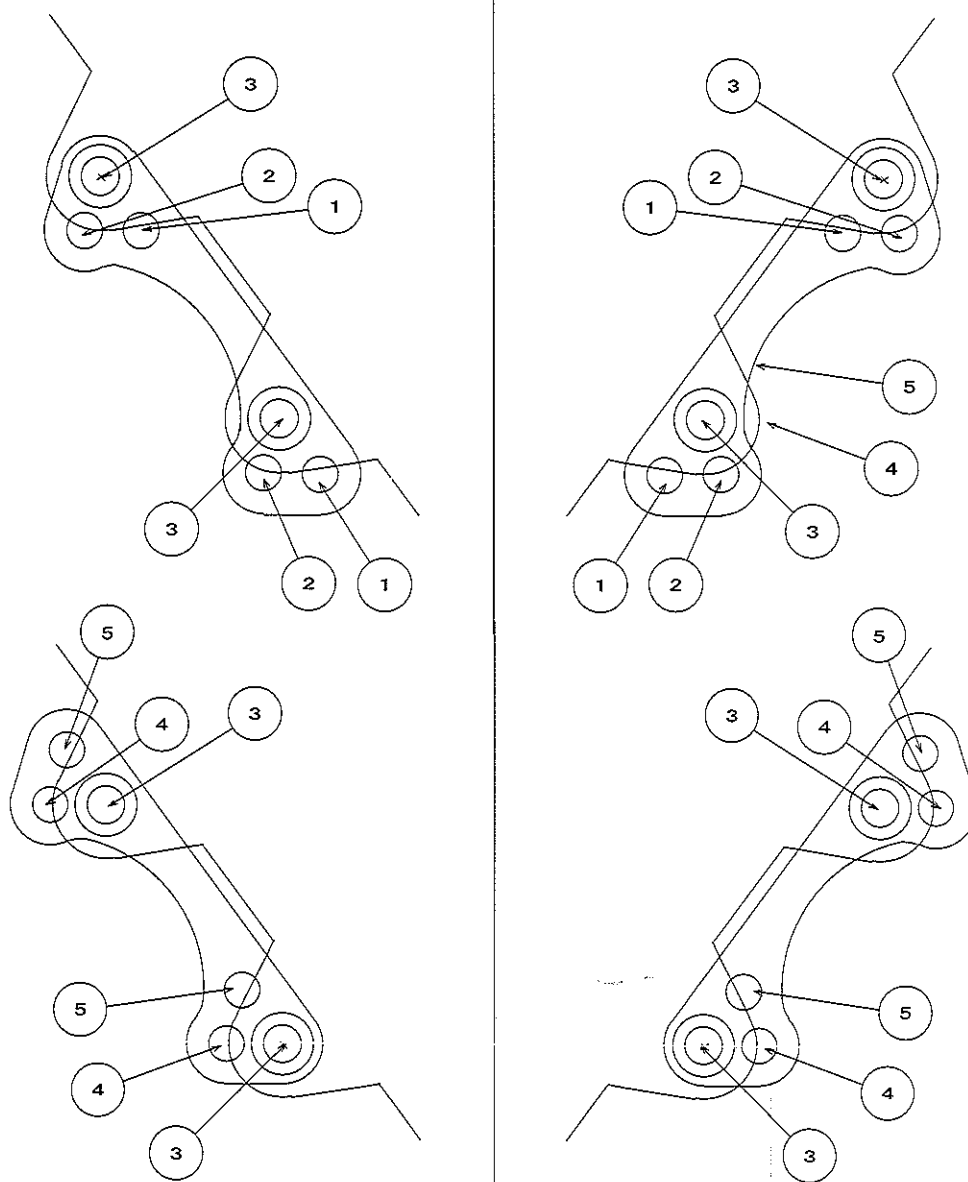
ポジションチェンジについて

BACK	UP
① 44 mm	25 mm
② 56.5 mm	25 mm
③ 53 mm	37 mm
④ 65.5 mm	37 mm
⑤ 62 mm	49 mm

※ 逆チェンジなどチェンジロッドの長さが足りない場合チェンジロッドにステンレス製のエクステンションロッドを継ぎ足してください。

※ ピロボール **KF-L6** につ
け換えて下さい。

※ 上の表の値はノーマルス
テップから割り出した
目安の値です



》 注意点 《

- ◇ ブレーキ・チェンジ両ペダルの垂れ角の範囲は、ある程度、選択が可能です。極端な変更は安全な操作の妨げとなりますので、十分注意してください。
- ◇ マフラーによって、選択できないポジションがありますので御了承下さい。
- ◇ 必ず、ご自分に合ったポジションを選択し、チェンジ・ブレーキ両側のポジションが同じであることを確認して下さい。
- ◇ 取り付けが終了し、何度か走行された後に、各部のネジを軽く増し締めすることをお奨めします。

弊社製品に関するお問い合わせは、

TEL.0722(57)7600
FAX.0722(59)6600

(株) 日本ビート工業

まで

- ホームページ URL
<http://www.beet.co.jp/>
- 商品関連 e-mail アドレス
sales@beet.co.jp
- 技術関連 e-mail アドレス
support@beet.co.jp

◇ **BEET** WebSite

特集サイトを開設しました。
左記ホームページにてご覧下さい。